2026 年 11 月 4 日（水）

報道関係各位
プレスリリース

株式会社 SkyDrive

韓国・高陽市および Verty 社と「空飛ぶクルマ」の導入に向けた MoU を締結
～2028 年の商用運航に向けて韓国でのエコシステム構築を加速～

コンパクトな「空飛ぶクルマ」（※1）の開発・製造・販売を行う株式会社 SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役 CEO 福澤知浩、以下「SkyDrive」）は、人口 100 万人を超える韓国を代表する特例市であり、K-UAM の首都圏拠点としてバーティポート整備を先導的に推進している高陽特例市（市長 ミン・ギョンソン、以下「高陽特例市」）および運航から交通管理、離着陸場（バーティポート）運用までを一貫して担う体制の構築を進める Verty Co., Ltd.（本社：大韓民国ソウル特別市、CEO キム・ドンウ、以下「Verty」）と空飛ぶクルマの導入および検討に向けた基本合意書（MoU）を締結しました。本連携により、3 者は高陽市内における実証・試行運航および商用運航に向けた環境整備と、地域に根ざしたエコシステムの構築を官民一体で推進してまいります。



2026 年 11 月 4 日に韓国・高陽市の KINTEX（キンテックス）にて開催された
「DRONE-UAM EXPO 2026」にて実施された MoU 締結式の様子
左から、Verty CEO キム・ドンウ 氏、高陽市市長 ミン・ギョンソン氏、SkyDrive 代表取締役 CEO 福澤知浩

■ 背景と目的

SkyDrive は、「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに掲げ、「日常の移動に空を活用する」未来の実現に向けて、コンパクトな「空飛ぶクルマ」の開発・製造を推進しています。2025 年大阪・関西万博でのデモフライト実施をはじめ（※2）、型式証明（TC）の取得に向け、日本の航空局（JCAB）と事業計画・型式証明方針の合意を完了し、商用運航に必要な認証プロセスの着実な進捗を重ねています（※3）。さらに、スズキグループの工場を活用した量産体制の整備を進め、現在では世界 10 カ国において現地のパートナーや自治体とともに「空飛ぶクルマ」の社会実装に向けたプロジェクトを展開しています。

特に韓国市場においては、国土交通部（MOLIT）が掲げる「2028 年の空飛ぶクルマの商用運航開始」のロードマップを見据え、韓国をグローバル展開における優先市場の一つと位置付けています。SkyDrive が開発する「コンパクトなマルチローター型」の機体は、屋上バーティポートの活用に適しており（※4）、韓国の都市交通課題を解決する最適な解決策です。韓国市場への本格参入にあたっては、現地で運航・交通管理・バーティポート（離着陸場）運用まで統合体制の構築を進める Verty と連携し（※5）、同国における事業化やエコシステムについて協議・検討を進めてまいりました。

また、Verty との共同の取り組みとして、韓国国内における「空飛ぶクルマ」の理解促進と社会受容性の醸成を目的とした活動も本格化させています。その一環として、2026 年 11 月 4 日～6 日に高陽市の KINTEX で開催された「DRONE-UAM EXPO 2026」において、Verty との共同ブースを出展いたしました。同展示会では「SKYDRIVE（SkyDrive 式 SD-05 型）」の 20%スケールモックアップ機体を公開展示し、来場者や現地関係者に向けて次世代モビリティがもたらす未来像を提示しました。

このような中、本取り組みの拠点となる高陽市は、人口約100万人の大都市で、KINTEXや高陽総合運動場、漢江の観光資源、金浦空港へのアクセスを備えた首都圏を代表するMICE・K カルチャーの中心都市であり、韓国国土交通部が進める「K-UAM グランドチャレンジ」の首都圏実証拠点（KINTEX 周辺）に選定されており、実証用バーティポートの建設をはじめとするインフラ整備を急速に進めています。さらに、韓国航空大学等の専門機関と連携した人材育成や、白石（ペクセク）地区への産学融合拠点の整備、複合交通ハブや医療・観光資源と連動したモビリティモデルの検討など、韓国における空飛ぶクルマ産業のハブ化を目指した包括的な取り組みを先導的に展開しています。

機体メーカーの SkyDrive、現地で運航・インフラ統合を担う Verty、そして首都圏の空飛ぶクルマのハブとして実証基盤を有する高陽市の 3 者の意向が合致したことから、このたび MoU を締結する運びとなりました。

今後は、民間の先進技術・運航ノウハウと行政のインフラ・政策支援を融合させ、高陽市内における実証・試行運航および商用化に向けた環境整備を官民一体となって推進してまいります。



韓国・高陽市の KINTEX（キンテックス）にて開催されている「DRONE-UAM EXPO 2026」での展示の様子

■　主な取組・検討事項

　高陽市、Verty、SkyDrive の 3 者は、同市における空飛ぶクルマの商用化基盤の構築および産業エコシステムの形成を目指し、以下の事項を中心に協働・検討を行ってまいります。

- **空飛ぶクルマ産業の育成および活性化に向けた相互協力**
  高陽市内における空飛ぶクルマ産業の発展・活性化を図るための基盤構築および連携推進

- **実証・試行運航および商用化推進に向けた協力**
  高陽市内における「空飛ぶクルマ」の実証飛行、試行運航、ならびに将来の商用運航開始に向けた環境整備および運用検証

- **各機関の専門性を活かした協力課題の発掘・検討**
  機体開発（SkyDrive）、運航・インフラ統合（Verty）、行政・地域インフラ（高陽市）という各機関の強み・専門性を連携させた具体的なプロジェクトおよび事業課題の企画・検証

- **航空・空飛ぶクルマ分野における総合的な相互連携**
  その他、3 者が合意した航空・空飛ぶクルマ分野全般における体制の維持および広範な相互協力

■ **代表コメント**

韓国 高陽市 市長 ミン・ギョンソン 氏

高陽特例市は、K-UAM 首都圏実証拠点と KINTEX バーティポートを基盤に、韓国の UAM 産業の実証と商用化をリードしています。今回の協定は、機体・運航・交通管理・バーティポートを連携させた協力体制を構築し、UAM を市民が実感できる未来の交通サービスへと発展させる重要な出発点です。SkyDrive および Verty と緊密に協力し、高陽特例市をグローバル UAM 産業の中核拠点へと成長させてまいります。

Verty Co., Ltd. CEO キム・ドンウ 氏

首都圏で最も安全かつ迅速に商用運航を開始できる高陽市において、SkyDrive とともに空飛ぶクルマ事業の準備を進めることとなり、大きな責任を感じております。SkyDrive の機体は商用化の初期段階においても成立する事業性を備えており、また高陽市は首都圏の中心に位置する人口 100 万人の「K カルチャー」を代表する都市として、韓国国内にとどまらず世界へと社会受容性を広げていくことができる場所です。これこそが、私たちが今回の 3 者間 MoU に大きな期待を寄せる理由です。当社は、韓国国土交通部と韓国航空宇宙研究院（KARI）が主管した K-UAM 初期商用化サービスモデルの検証実証に参加し、運航、交通管理、バーティポート運用を単一事業者として一貫して担う方式で、その手順を検証してまいりました。この経験と能力を活かし、今後高陽市で実施される実証・試行運航においても、SkyDrive の機体の韓国における安全な商用化に貢献してまいります。

株式会社 SkyDrive 代表取締役 CEO 福澤 知浩

Verty 社とのパートナーシップ締結に続き、韓国における空飛ぶクルマ推進の重要拠点である高陽市と 3 者間 MoU を締結できたことを大変光栄に思います。高陽市は「K-UAM グランドチャレンジ」の首都圏実証拠点となっており、先進的なインフラ整備や産学連携を強力に推進されている非常に心強いパートナーです。機体メーカーである SkyDrive、現地で運航・インフラ統合を担う Verty 社、そして地域行政を担う高陽市が足並みを揃えることで、高陽市内における実証・試行運航の実現、さらには 2028 年の商用運航に向けた社会受容性の向上や環境整備を官民一体となって推進してまいります。

※1 空飛ぶクルマとは：電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段です。諸外国では、Advanced Air Mobility（AAM）や Urban Air Mobility（UAM）と呼ばれています。

引用元：国土交通省（令和 8 年 3 月付）https://www.mlit.go.jp/koku/content/001994084.pdf

※2 関連プレスリリース：
SkyDrive、大阪・関西万博でデモフライト開始 https://skydrive.co.jp/news/64782/
吉村府知事、JAXA、関西電力などが見守る中、海上デモフライトを実施 https://skydrive.co.jp/news/65240/

※3 関連プレスリリース：
SkyDrive、型式証明プロセスの中核「全般計画書」について国土交通省と合意 https://skydrive.co.jp/news/69365/

※4 関連プレスリリース：
「空飛ぶクルマ」の機体設計コンセプトを公開 https://skydrive.co.jp/news/72112/

※5 関連プレスリリース：
韓国での空飛ぶクルマ事業、2028 年の開始を目指して運航・インフラを手がける Verty 社と MOU を締結
https://skydrive.co.jp/news/72092/

≪株式会社SkyDrive　概要≫

設立	2018 年 7 月
代表者	代表取締役 CEO　福澤知浩
ＵＲＬ	https://skydrive.co.jp/
所在地	豊田本社：愛知県豊田市挙母町 2-1-1 豊田開発センター：愛知県豊田市西中山町山ノ田 20-2 豊田テストフィールド：愛知県豊田市足助地区 名古屋空港オフィス：愛知県西春日井郡豊山町大字豊場 県営名古屋空港 2F 東京オフィス：東京都千代田区平河町 1-3-13 平河町フロントビル 3F 大阪オフィス：大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第一ビル 8F 山口テストフィールド：山口県山口市阿知須
子会社	株式会社 Sky Works：静岡県磐田市 SkyDrive America, Inc. ： Beaufort, South Carolina 29902, U.S.A. 株式会社 AlterSky：愛知県豊田市
事業内容	「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに掲げ、「日常の移動に空を活用する」未来の実現を目指しています。2018 年 7 月の設立以来、愛知県豊田市を主拠点にコンパクトな「空飛ぶクルマ」を開発し、静岡県磐田市のスズキグループ工場で製造を開始しています。官民協議会の構成員として制度設計にも関与し、2020 年には日本初となる公開有人飛行試験に成功、2025 年の大阪・関西万博でのデモフライトを経て、2028 年のサービス開始に向けた取り組みを加速させています。

本件に関するお問い合わせ

≪株式会社 SkyDrive≫
広報 石井
携帯：090-6389-3584
Email: info@skydrive.co.jp
https://skydrive.co.jp/contact